

「時間とはいったい何だろうか？」…という問いかけは人類史上、始まって以来の永遠のテーマなのかも知れません。それは科学の分野でもあり、同時に思想や哲学的なものでもあります。太陽、月、地球。私たちの心身は星々のめぐりの中で、自然界のあらゆる命とつながりあって育まれています。古来から日本で広く親しまれてきた旧暦は、陰陽五行の世界観を元にした宇宙の羅針盤でもあります。太陽、月をもとに読み解かれる陰陽の世界観は、星の動きと心身のバイオリズムが分かちがたくつながっていることを教えてくれます。自然と寄り添って生きてきた先人たちの世界観を、陰陽五行と日月のリズムから感じとり、季節と心身のとつながりや伝統的な養生法に触れてみましょう。

富田貴史

富田 貴史 Takafumi Tomita

京都在住。全国各地で年間 300 本以上のイベント・ワークショップを続けている。テーマは暦、エネルギー、手仕事 (茜染め、麻禪、鉄火味噌など)、自家発電など。『母笑み疎開保養大作戦～海旅 Camp』共同代表。

2013 年春、大阪中津にて 養生のための衣食を自給する 富貴工房 オープン。

著書「わたしにつながるいのちのために」

「今、わたしにできること～目に見えないものをみつめて生きていく～」ほか

<http://takafumitomita1320.cocolog-nifty.com/blog/>